

茅ヶ岳山行報告

【山城】山梨県・茅ヶ岳（1704m）

【日程】2018年1月19日 晴れ

【メンバー】CL 室（昌）・村尾・石橋・菊池（記）

【行程】千葉—深田記念公園駐車場（950m）—女岩—女岩のコー—深田久弥終焉の地（碑）—茅ヶ岳山頂—千本桜分岐—尾根ルート—駐車場



- ・茅ヶ岳は奥秩父の山地の南西部に位置する火山で火山体には金ガ岳峰も含む。東側は黒富士火山群に接する。深田久弥終焉の地（茅ヶ岳登山中に脳卒中で死去したとして知られており、麓に深田久弥記念公園がある。
- ・今年の大寒は1月20日、今冬は冬将軍が繰り返し日本列島を襲って上信越の山々には多くの積雪をもたらし、パウダーエリア



一のBCを楽しんでいる。冬将軍が強力な分、八ヶ岳・富士山などへの降雪が少ない。毎週のように山スキーを楽しんでいるが、ハイキングを織り交ぜて、ハイキング仲間とも楽しんでいる。1月3日の高尾山～陣馬山縦走に続いて、久しぶりの茅ヶ岳の陽だまりハイクに行ってきた。深田記念公園駐車場から冬枯れの緩い登山道をすすむ。登山道は霜柱と凍土でカチカチのところが多い。登りは女岩ルート、女岩の下で記念撮影し、ここから急登りが始まります。大寒の前日なのに3月中旬の気温、元気な女性陣は軽装です。落石注意の急斜面を大かきながら頑張ります。



急登を登りきると女岩のコルで間もなく深田久弥終焉の地に記念碑があります。今回のメンバーは皆さん茅ヶ岳には何回も来ている手ごろな名山である。小生も2回目である。



記念碑の前で記念撮影をし、岩稜帯の細尾根を暫く頑張ると山頂です。

・山頂は360度の大パノラマ（富士山・南アルプス・八ヶ岳が楽しめる）のはずだが、今日は高い山々は雲で覆われていた。1704mの山頂まで標高差750mあまり、楽でもなく辛すぎでもない適度なハイキングルートである。山頂は霜柱が解けて泥んこ状態のところが多く、休憩場所の選択にやや苦労した。水

たまりの氷はしっかり残っています。

- 下りは登りルート of 西側にある尾根ルートを下った。千本桜の分岐からどンドン下る尾根ルート、岩場もそれなりにあるやや手強い下りルートである。下部では霜が解けてやや泥んこ状態となっていた。小生は相変わらず最後尾から滑らないようにゆっくりペースについていった。厳冬期ではあるが気温が高く初春のような陽だまりハイクを楽しめた1日でした。

